

地域包括ケア時代の「介護福祉経営士」の使命とは？

「病院・施設完結型」から連携・統合型へ 政策に左右されない自律経営のかじとりを

2015年4月に施行される介護報酬改定は、介護事業者にビジネスモデルの見直しを迫る契機になりそうだ。改定内容が単なる報酬単位の増減にとどまらず、個別のサービスの位置づけや運営基準の見直しにも及ぶことが想定されるからだ。また、リハビリや看取り機能が重視されることで、介護事業に進出する医療機関が増加、介護業界の勢力図が一変する可能性もある。このような局面では、「政策に左右されない自律型の経営」が真価を発揮する。「介護福祉経営士」等の経営人材が、いよいよ求められる時代を迎えている。

「地域包括ケア」という概念のもとでは、一つひとつの要素(サービス)の機能を統合させることが重要。医療ですら『病院完結』ではなくなっている。ましてや介護事業は、とても一つの要素で完結するようなものではない」

8月に行われた社会保障審議会介護給付費分科会の終了間際、田中滋分科会長はこう語り、制度見直しの方向性を示唆した。

この日の論点の一つは、介護療養型医療施設(介護療養病棟)の存廃について。中重度要介護者の長期療養を担う機能を引き続き確保する方針が改めて確認された。

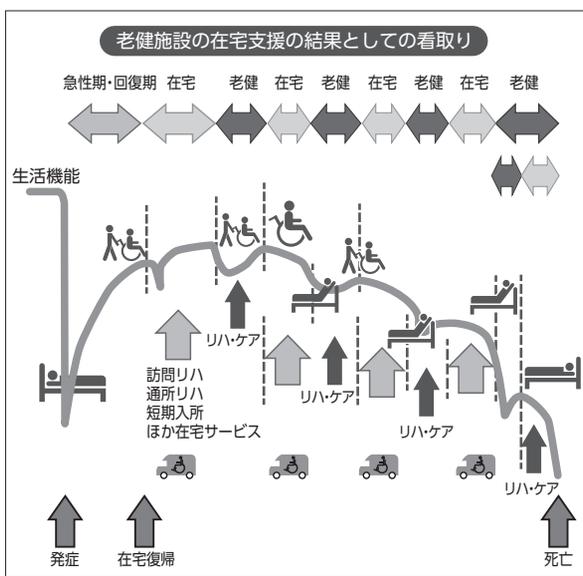
介護療養型医療施設の廃止は、2005年の介護保険法改正で決定。当時の社会保障費

削減政策の「目玉」だった。それから8年、状況は一変した。高齢化が予想以上に進展し、在宅における重症者が増加。この背景には、診療報酬改定の影響も大きいと指摘される。結果、医療も介護も提供できる施設はやはり地域に必要、との結論に至ったわけだ。

例にあげてみよう。在宅復帰率50%超の要件を満たす「在宅強化型」は、いわゆる従来型施設と比べて、入所者の平均要介護度はほぼ変わらないのに、平均在所日数では4割程度というデータが示された。

その理由を探ってみると、「在宅強化型」は、訪問リハや通所リハ、短期入所を実施した

り、在宅療養支援に取り組む例が多い。居宅サービスとの連携を強め、入退所を繰り返す「リピーター」に対応した結果、終末期医療まで実施するケースも増えているという(図)。



資料：全国老人保健施設協会(第105回社保審議会介護給付費分科会資料)

介護と医療の「連携」というキーワードも、最近では「統合」と表現されることが増えた。これは施設サービスに限らず、当然ながら通所介護など居宅サービ

スにも当てはまる。サービス形態を見直し、あるいは別法人と協業・提携する機会が増えれば、橋渡し役として「介護福祉経営士」のような経営人材の出番が増える。

人・モノ・カネ・
情報を網羅した
介護経営月刊誌

最新介護経営 わかる・使える・明日が見える

介護ビジョン

CARE VISION

2014年11月号
(2014年10月20日発売)

詳しくは

●毎月20日発行
●定価: 1,296円(税込)
●定期購読料: 15,552円(税込)

総力特集 八百屋、NPO、町内会も“協働”相手！ 多制度連携で介護が変わる

◆座談会：調整役の実情を語ろう 結城康博氏×早川 仁氏×前田真理子氏×松田文字氏
◆事例：地域特性に適した体制をつくる／山本武尊氏・山口地域包括支援センター 相談員
(社会福祉士・介護福祉経営士2級) ほか

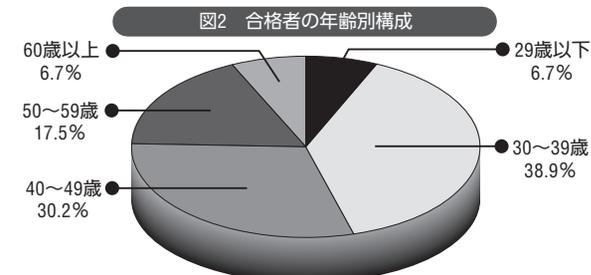
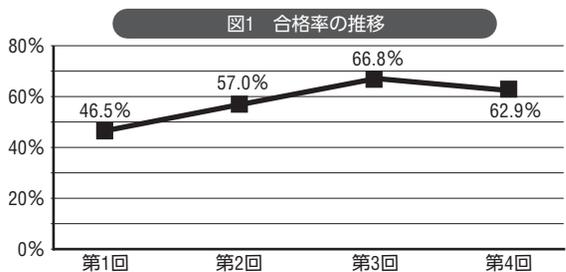
◆第2特集 感染防御に奇策なし！
原因・経路に着目して
利用者を守れ！
感染対策2014

お問い合わせ先／(株)日本医療企画 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-2862 FAX:03-3256-2865 <http://www.jmp.co.jp/>

●関東支社 ☎03-3256-2885 ●関西支社 ☎06-7660-1761 ●九州支社 ☎092-418-2828 ●北信越支社 ☎076-231-7791 ●中部支社 ☎052-209-5451 ●北海道支社 ☎011-223-5125

データで探る「介護福祉経営士」合格者のプロフィール

「30歳代」「女性」「金融・異業種」が増加傾向



※第1～4回「介護福祉経営士2級」資格認定試験における合格者の総計

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が7月に実施した、第4回「介護福祉経営士2級」資格認定試験は178人が受験し、112人が合格した。ここでは過去4回行われた同試験の合格者のデータから、「介護福祉経営士」の傾向を浮き彫りにしてみよう。

◆合格率

これまで4回実施された「介護福祉経営士2級」資格認定試験の合格率は、図1のように推移している。

第1回は50%を割り込んだが、第2回以降は6割前後で推移。第3回からは2回連続で60%を上回った。

◆性別・年齢別

過去4回の合格者のうち、男性は81.3%、女性は18.7%という比率となっている。しかし、第4回試験では女性が21.4%を占め

ており、増加の兆しを見せている。

年齢別構成は図2のとおり。

傾向として「30～39歳以下」の受験者層が増加しており、第4回(42.0%)ではじめて4割を突破。一方で「50～59歳以下」が減少しており、低年齢化しつつある。

◆業種別

合格者の勤務先の業種別にみた構成比では、介護施設・事業所(44.4%)、金融機関(22.0%)の合計では

ぼ3分の2を占める。

これに医療機関(7.0%)、コンサルティンク(6.2%)が続く。

「金融機関」がめだつ

背景には、介護福祉分野が医療、環境と並んで成長産業として期待されているため。金融業界の専門紙によると、「介護分野での取引拡大を狙い(全国信用組合新聞)、「専門知識でコンサル力を向上(ニッキン)など、資格取得を通じたスキルアップを奨励するケースが相次いでいる。

◆保有資格別

保有資格別(複数回答)では、ケアマネジャーが26.7%で最多。これに介護福祉士(21.9%)、ホームヘルパー(20.4%)が続くが、ファイナンシャルプランナー(20.2%)も肩を並べている点で、介護福祉分野に限らず多様な人材が参画する「介護福祉経営士」ならではの特徴と言える。

病院経営戦略を探る『フェイズ・スリー』フォーラム

月刊誌「最新医療経営フェイズ・スリー」(発行:日本医療企画)の創刊30周年記念フォーラムが全国各地で開催される。テーマは「地域医療大再編時代の幕開け―機能別病院経営の戦略と戦術」。医療介護総合確保推進法など転換期における地域医療ビジョンと経営戦略について、講演

とシンポジウムから探る。受講料は一般1万円、「介護福祉経営士」は後援団体割引で8000円(いずれも税込)。なお、会場と日程は次のとおり。

新刊「まるわかり! 2015年度介護保険制度改正のすべて」

介護保険制度改正に対応した事業経営のポイントについて解説した新刊「まるわかり! 2015年度介護保険制度改正のすべて」が11月21日に発売される。著者は「介護福祉経営士テキストシリーズ基礎編Ⅱ第2巻」介護報酬制度/介護報酬請求事務」を執筆した小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)。

今年6月25日に公布された「医療介護総合確保推進法」成立までの経緯や関係省令・通知などの解説、介護保険制度の経過を分析。

- 札幌=11月9日(終了)
- 静岡=2月12日(木)
- 名古屋=2月22日(日)
- 金沢=2月26日(木)
- 東京=3月4日(水)
- 仙台=3月19日(木)
- 大阪=調整中
- 福岡=調整中
- ◎フォーラム事務局 担当:荒川 ☎03-3256-2885まで。



「介護福祉経営士」資格認定試験合格に向けた学習教材

「介護福祉経営士」資格認定試験対応 日本介護福祉経営人材教育協会 推薦テキスト

「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全21巻) キャンペーン 2015年2月15日まで!

好評につき延長!

介護福祉経営に必要な知識を体系的に習得できる「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全21巻)。介護・医療の現場、教育現場、経営の実務に携わり、各分野の第一線で活躍する執筆陣によってまとめられた本シリーズは、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会より「介護福祉経営士」資格認定試験推薦テキストとして採用されています。

■ 総監修(50音順)
江草安彦
社会福祉法人旭川荘名管理理事長
川崎医療福祉大学名誉学長

大橋謙策
公益財団法人テクノエイド協会理事長
元・日本社会事業大学学長

北島政樹
国際医療福祉大学学長

■ 体 裁:各巻 B5判/1C
■ 定 価:各巻 2,500円+税

【全21巻セット】または【基礎編10巻セット】をご購入の方に、**介護福祉経営士2級資格認定試験対策—合格サポートブック—**を進呈

『合格サポートブック』とは

- ・「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)の各巻の重要ポイントの解説を掲載
- ・予想問題を掲載
- ・第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題の一部を掲載 ※解説は(株)日本医療企画によるものです

合格者の声「介護福祉経営士」をこう活用する!

「介護福祉経営士2級」は、これまで計4回の資格認定試験で、総勢599名の合格者が誕生しました。介護施設・事業所、企業などから多くの方が受験し、合格しています。どのような目的で受験し、どのように「介護福祉経営士」の資格を業務に活かそうと考えているのか、合格者に話を聞きました。

© arkgarden - Fotolia.com

福祉サービスを幅広く捉え、地域に求められるサービスを提供したい



山下 明美
やました あけみ
特別養護老人ホーム 安立荘(愛知県みよし市)
業務課長 看護師、介護支援専門員

私は、看護師として総合病院や療養型に勤めた後に現在の特別養護老人ホームに勤務しています。現在は、看護師と介護支援専門員を兼務しています。

以前より、県の監査に立ち会って、監査官の方からは、様々な情報を教えていただきますが、自身の福祉サービスに関する知識の少なさを痛感していました。業務を通じて感じていた

「福祉サービスについて広く学びたい」という思いが「介護福祉経営士」の資格取得を目指したきっかけです。

現在所属する社会福祉法人は大正元年に設立され、保育・障害・高齢など幅広い分野の福祉事業を展開しています。今後は、地域の介護事業者や他業種の方から様々な情報を取り入れながら、介護福祉産業の発展を担う一員になりたいと思います。

地域に信頼される施設づくりに金融機関の立場からお手伝い



麻生 幸男
あそう ゆきお
大分県信用組合(大分県)顧問

全国的に高齢化が問題になっていますが、私の住む大分県も多分に漏れず、過疎化とともに高齢化が急速に進んでいます。こうした状況下において、私自身も65歳になり、従来にも増して高齢化問題に関心を持つようになりました。今後、介護福祉の分野において多少なりともお手伝いできないかと言う気持ちから、受験を思い立った次第です。

現在、金融機関の顧問(2014年6月までは役員)として勤務しておりますが、地域柄、取引先が介護・福祉分野の施設経営を検討するケースが目につきます。

今後は、そのような事案に對して、介護事業参入前の計画段階から相談に応じ地域から信頼される施設として、安定した経営ができるようお手伝いできればいいと考えています。

管理職の責任を果たすためマネジメントスキルを身につける



森下 真樹
もりした まさき
特別養護老人ホームめぐみ園(東京都西東京市)
生活支援室室長

私は、特別養護老人ホームの管理職として、人事労務管理をはじめ、人材確保・育成に関する事業に携わるほか、生活相談員としても従事しています。

管理職就任当初は、ベッド稼働率などの数字に向き合うことや職員採用・育成などに関わるなど新たに与えられた役割をこなすことで精一杯でした。管理職として、役割・責任を果たすためマネジメント

トスキルを身に付けようと思いい、「介護福祉経営士」の受験を決意しました。受験勉強を通じて使用した介護福祉経営士テキストでは、現場経験をベースに読み進めることで日頃の業務の見直しにも役立てることができました。

今は、関東支部の研究会に参加していますが、多業種との意見交換は刺激になっています。今後は研究会に参加して人脈を広げていきたいです。

時代の流れに対応できるように安定した経営サポート役をめざす



山本 仁治
やまもと ひとはる
株式会社日医リース 仙台支店(仙台市青葉区)支店長

わが社は、医療関連機器のリースや開業後のフォローなどを行うリース会社として来年45周年を迎えます。2013年、介護事業者へのサポートを本格的に開始するため、介護福祉推進部を創設し、現在は、全国19カ所に営業拠点を展開しています。

私は、介護福祉経営士と医療経営士の両資格を取得していますが、受験のきっかけは、医療、介護事業者と関わるな

かで、医介連携の重要性を改めて感じたためです。今後は、医療機関や介護事業所が時代の流れに対応できるように、安定経営に向けたサポート役としての役割を果たしていきたいと思っています。

また、日本介護福祉経営人材教育協会東北支部も今年設立したので、支部主催のセミナーや研究会活動にも積極的に参加し、横の繋がりを広げていきたいです。

日本の未来を創る 介護福祉分野の新資格 「介護福祉経営士2級」資格認定試験のご案内

第6回試験 11月19日(水) 受験申込受付開始!

2015年2月15日(日)



試験会場：札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡(ほか(予定))

●試験時間/60分 ●出題問題/40問 ●出題形式/多肢選択式・マークシート記入 ●受験料/8,000円(税込)

主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

<http://www.nkfk.jp/>

試験のお申し込み・お問い合わせ・資料請求はウェブで……

介護福祉経営士

検索



支部 NEWS & TOPICS

関東支部

「感動・感謝・感激」心の3K職場をつくる 人材育成法を学ぶ

関東支部では、9月30日に堺野幸枝氏(日本プロフェッショナル・キャリアアカウンセラ協会)を講師に迎え、「第5回介護経営スキルアップ講座」一流の介護職員が育つ奇跡の「人材育成法」を開催した。

前半は、職員の心を育てる人材育成法の考え方や集団と個別でできる人材育成法、コミュニケーションの重要性など、人材を育てていくうえで「心構え」や「プロ意識を育てるためのノウハウ」等を講義。「感動・感謝・感激」の心の3K職

場をつくり上げるために、行おうべきポイントについて、事例を交えながら説明し



た。

後半には、カウンセリング技法やコミュニケーション技法、介護職員に必要な礼儀作法など、介護職員が身につけるべき基本的なスキルについて、演習を通して学んだ。

参加者からは、「利用者への心をすくひ、本当の気持ちをつくむという介護の原点を再認識できた」、「今まであまり意識してこなかった部分であったが、手間を惜しまず継続してスキルを身につける教育に取り組み、足並みを揃えて介護を行う必要性を感じた」、「スタッフへの声かけや気配りなどの重要性を改めて感じた」、「今日行った演習は、今後の研修に取り入れたい」等の声が挙がり、それぞれの職場において、利用者に笑顔をもたらす「心くばりの介護」を実践できる人材を一人でも多く育成しようとする姿勢が見られた。

九州支部

先駆者から学ぶ「定期巡回」を成功に導く秘訣

九州支部は9月27日、介護福祉経営研究会(先駆者)に学ぶ「24時間定期巡回随時対応型訪問介護看護」を成功に導く方法を開催した。

講師は、社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団「中津総合ケアセンターいずみの園」(大分県中津市)の山本さつき氏。いずみの園は、介護保険制度がスタートする以前の1998年に、国のモデル事業で24時間定

期巡回サービスに取り組む、2010年には夜間対応型訪問介護をスタートさせた。人口約6万5000人の中津市において、夜間対応と併せて登録者は100名を超えている。

山本氏は、管理者としての経験から、定期巡回に取り組む多くの事業所が課題とする登録者増の秘訣、人材確保のポイントなどを紹介。まず、登録者の確保については、「どのような場面に定期巡回を使えばよいのか具体的なイメージをつかんでもらうために広報活動に注力した。特に、ケアマネジャー、病院

のソーシャルワーカーを中心に営業活動を展開。訪問時には必ず具体的な事例を1つ伝えるよう徹底したほか、他事業所と顔の見える関係をつくることで新規登録者の獲得にもつながっている」と説明した。

また、人材については、「夜間のオペレーター業務を非常勤職員で対応するほか、子育て中の母親も仕事をしやすい午後8時から翌朝6時の時間帯でシフトを組むことで夜間の訪問介護員を確保している。一人ひとりに合わせて柔軟な時間帯で働けるよう配慮すること

が、他事業所への人材流出の抑制にもつながっている」と強調した。

参加者からは、「オペレーターが指示なしに迷わないように訪問介護と訪問看護の役割を明確にしている点など参考になった」などの意見があがった。



東北支部設立を記念し「合格者のつどい」開催

東北支部は10月16日、第1回理事会を開催し、6番目の支部として正式に発足した。支部長に齊藤淳・社会福祉法人楽晴会理事長、副支部長に竹村通矩・社会福祉法人杜の里福祉会常務理事を選出。早坂聡久・社会福祉法人柏松会常務理事を含めた3名の執行部で活動をスタートした。

活動の第一弾として同日夜、ホテルメトロポリタン仙台において「東北支部設立記念『介護福祉経営士』合格者のつどい」を開催。日本介護福祉経営人材教育協会から多田宏副代表理事、川淵孝一理事、林諄理事が駆けつけ、祝福した。

はじめに齊藤支部長が「本日設立されたばかりの東北支部に、本部役員の皆さんが駆けつけてくださり、とても心強い。『介護福祉経営士』の皆さんを一生懸命支えて、東北支部を盛り上げていきたい」とあいさつ。

来賓あいさつでは、多田宏副代表理事が「『介護福祉経営士』の資格取得は、皆さんにとってゴールではなく、これから実践の場で活躍していただくスタート。経営の舵取りが大事な時期を迎えるが、良質なサービスを地域に展開していく原動力として活躍していただきたい」と参加者にエールを送った。

会の途中では、「介護福祉経営士」会員が一人ずつ登壇。「家業から事業へと脱皮できるよう勉強していきたい」「『介護福祉経営士』同士でグローバルなネットワークをつくりたい」など抱負を述べた。



インターネットセミナー【介護福祉経営講座】のご案内

よくわかる 実地指導への対応マニュアル

全国を飛び回る人気講師・小濱道博氏が、実地指導に向けてあらかじめ準備すべきこと、実際の対応、その後の手続きまで、さまざまな事例を挙げてわかりやすく解説します。大好評のセミナーを臨場感たっぷりにインターネットで受講できます。

インターネットセミナー【介護福祉経営講座】とは…

介護福祉経営の現場における課題解決とマネジメント力の向上を目的として創刊された「介護福祉経営士実力テキストシリーズ」(日本医療企画刊・各巻1,800円+税)を教材としたインターネットセミナーです。介護福祉経営に携わるすべての方のスキルアップに向け、テキストの執筆陣がより実践的にわかりやすく解説します。

【受講料】 ※お支払いはクレジット決済、インターネットバンキングのいずれかを選べます。

- 一般価格:3,200円+税
- 介護福祉経営士正会員価格:1,200円+税



講師:小濱道博
(小濱介護経営事務所代表)

受講方法やお問い合わせは



日本医療企画 教育・出版事業本部 ヘルスケア経営学院
TEL:03-3256-2863 E-mail:info@hcmi-e.jp

ヘルスケア経営学院

検索 <http://www.hcmi-e.jp/>